

「パンと仕事と天国」

五色桜の花が咲いています。ゆり組、ひまわり組の皆さん、新しいクラスでの生活おめでとうございます。新しいお部屋にはどんなおもちゃがあるのか楽しみです。新しい担任の先生は誰になったかな？お庭には前に皆で植えたチューリップが元気よく咲いています。赤、白、黄、ピンク、紫などにぎやかですよ。

4月10日には入園式があり、新しくばら組さん25名が私たちのお友だちになります。またひまわり組さんにも新しいお友だちがやってきます。優しくしてあげましょう。その前のゆり組さんが卒園していった少し寂しかった幼稚園でしたが、可愛い子ども達が入園してまた賑やかな幼稚園になります。とてもうれしいです。楽しい幼稚園にしていきたいと思います。

朝登園してきたときに、マリア様の像に「マリア様、おはようございます」と手を合わせてご挨拶しましょう。マリア様が守ってくれますよ。

コロナ感染症も少なくなり、マスクをする必要が少なくなりましたので、先生たちはマスクをせずに子どもたちと過ごします。マスクをしていると子どもたちは先生の表情を読み取ることが難しく、言葉を覚えるこの時期に口の動きを学ぶことは大切なことだからです。そのほかにも一部消毒や子どもたちの間の距離を取ることもやめることになりました。皆さまのご理解をお願いします。

さて、始業式や入園式があるこの時期はカトリック教会ではイースター（復活祭）と呼ばれ、二千年前に十字架刑に処せられたイエス・キリストが神の力によって復活し、今も生きておられることを祝う日になっています。それは私たちの命はこの世における生命（命）で終わるのではなく死後も神の前で生き続けることを信じることを意味しています。宗教の違いはあれ私たちは死後も生き続けることを望んでいるのが現状です。そしてどんな命、人生にも必ず生きる意味があり、生きるに値するというのがこの復活の信仰なのです。

何やら難しいことのように思われますが、「小さな子どもたちが、この世においてもまた来世においても幸せであるように」と願ったのは、私たちのサレジオを創設したドン・ボスコなのです。そのためにドン・ボスコは助けを必要としている青少年のために、勉強を教え、祈りを教え、仕事を教え、食べ物を与えて、幸せな生活、人生が送れるように導き「パンと仕事と天国」を約束したのでした。今回皆さまにお配りした小さなカードがあります。「社会において善いパン種となろう」と書かれています。これは私たちの毎日の生活、生き方が社会の中にあってパンの「イースト菌」のように、社会を心豊かに膨らませるように頑張りましょうということなのです。サレジオ幼稚園はただこの世において幸せな生活を送れるように導くだけでなく、神さまの前でずっと幸せに生き続けられるように共に歩んでいきたいと願っています。

新たなこの一年が良い一年になりますように祈ります。



2023年4月7日 足立サレジオ幼稚園
園長 野口重光